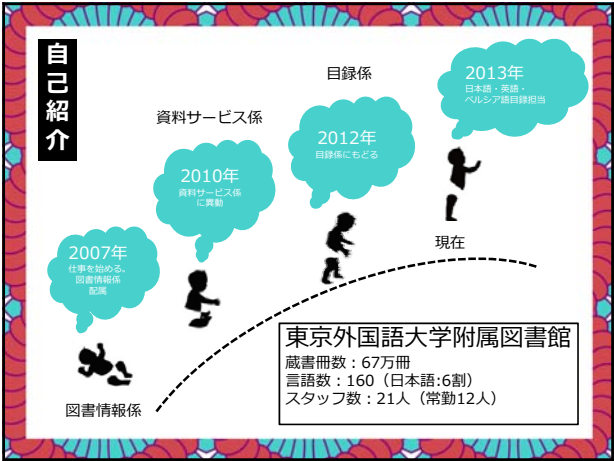
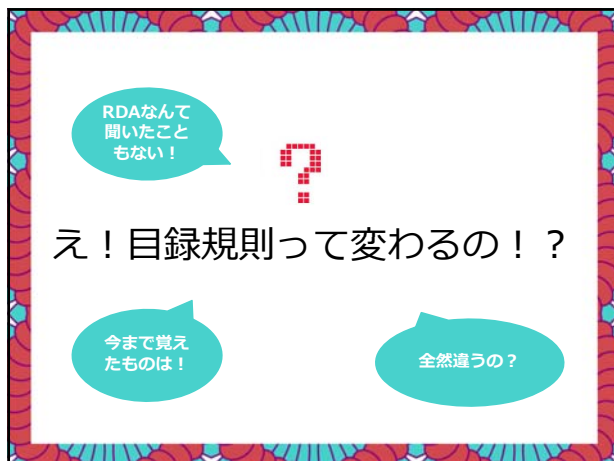
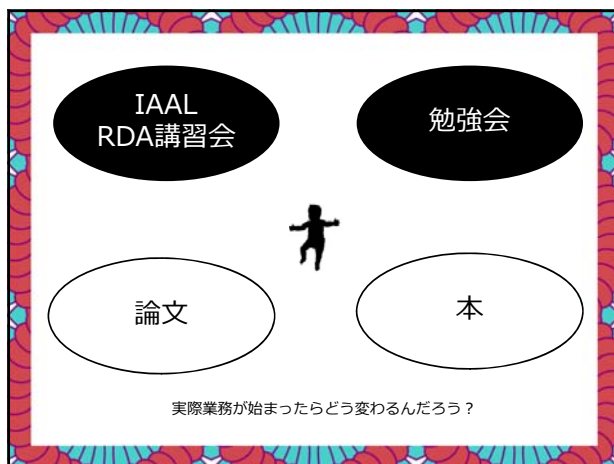


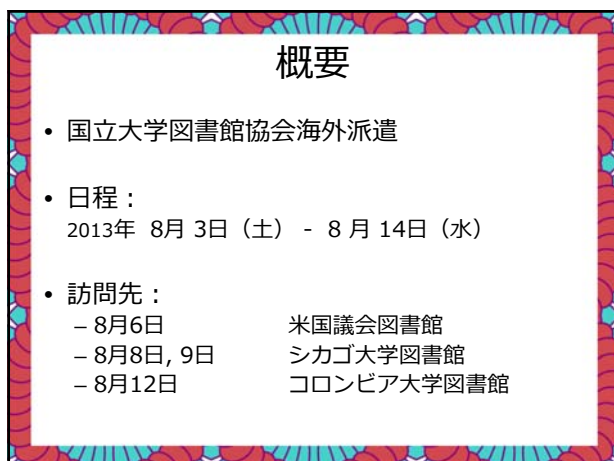












目的

- 目録規則：AACR2からRDA
- OCLC が2013.3 新方針：既存の書誌がRDAで書き換えられるようになった

実態調査

- 北米におけるRDAの実態を米国図書館員の視点からインタビュー調査
 - ① RDAのメリット, デメリット
 - ② 研修体制
 - ③ 書誌登録作業を実践

そもそも、RDAとは・・・

- Resource Description and Access (RDA) = 4か国（米国、英国、カナダ、オーストラリア）の図書館協会、米国議会図書館（Library of Congress : LC）及び英国図書館の代表者からなるRDA開発合同運営委員会（Joint Steering Committee for Development of RDA : JSC）という国際組織が開発した国際目録規則

- デジタル環境に適した、相互に連結したメタデータを生み出し、図書館をセマンティック・ウェブに適したものにして、基本的な利用者タスクを満たすように考案されている。

などなど・・・

つまり？

パソコンで検索できるようになったけれど

ハリー・ポッターと賢者の石 / J.K.ローリング作；松岡佑子訳
 著者標目形：Rowling, J. K. 1965- (DA12381535)

出版事項：東京：静山社，1999.12
 形態：462p；22cm
 ISBN：4915512371

分解

カード目録と一緒

テキスト言語：日本語



RDAの役割

- データ記述様式について定めている
 - 「見たまま表記 = 略称を使用しない」
 - 例：ページ→p. ではなく pages など
- RDAは冊子体とウェブ版で提供
- MARC21以降の新しいデータ構造→
 - [Bibframe](#)



一路、いや、二路アメリカへ・・・



Washington D.C.

研修体制

- 米国議会図書館 研修事業担当 Cooperative and Instructional Program Division (COIN)



22 名
(2008年10月 - 2013年 9月)

Chief: Judith P. Cannan

Cooperative programs Section
6名 (Paul Frank, Hien)
Training and Instructional Design
2名

研修 (2012年6月~2013年3月)

LC 	LC (遠隔地) 	PCC 
オンラインコンテンツ		
Quizをクリアしないと次のステップにはいけない		
クラスルーム	icohere	webinar
書誌の相互評価	オンラインで点数管理	オンラインミーティング

- LCスタッフ500名、PCCスタッフ 3000名 合計3500名が受講
- 一人当たり4週間
- 講師はCOINの3名とPCCのメンバー
- 管理職からまず研修を行った
- コンテンツはフリーでいつでも見られる

実際にやってみましょう。



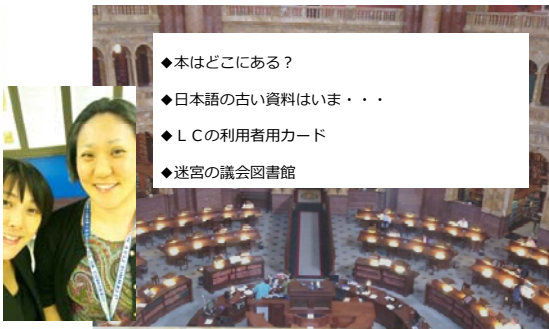
議会図書館の目録作業

- Asian and Middle Eastern Division
- 日本語Cataloger数：(full time:2人、part time:1人、ボランティア 1)



- ◆全員RDA Training に参加
- ◆RDAで目録作業
- ◆RDA特有の追加項目はマクロで処理
- ◆質問事項があれば the Policy and Standards Divisionに問い合わせ
- ◆「見たままを記録する」の問題点

こぼればなし



- ◆本はどこにある？
- ◆日本語の古い資料はいま・・・
- ◆LCの利用者用カード
- ◆迷宮の議会図書館



Chicago

シカゴ大学

- East Asian Technical Services University of Chicago
 - The Joseph Regenstein Library, 5th floor



11名
(パブリックサービス 4名、
テクニカルサービス7名)

RDAテスト参加者
1名

アジア資料を扱うためオリ
ジナルカタログーは少なく、
言語能力重視

図書館のみんな



Kikuさん
受入



Yuanさん
Curator

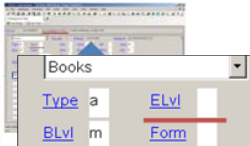


Wakoさん
アシスタント
カタログー



Jaiさん
カタログー

目録作業を実践

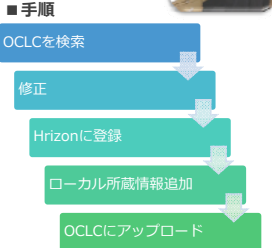


異なる点:

- エンコーディング・レベルの活用
- 変更機関履歴が残る
- 機関レコード(IR)の存在

- 大きな手順に差はない
- RDAによる変更も見たまま表記はあるが判断に迷うことは少ない

■手順



シカゴ大学の取組み

インタビュー調査 : Technical Services

Christopher Cronin (head) + 受入・図書・逐次刊行物・データ管理担当者

RDAテストに参加 (2010年 7月-2011年 3月)

- ・期間中に1301のオリジナル書誌作成

- ・すべての目録スタッフが参加 (17名)

現状: 選及中の逐次刊行物を除き、すべてRDAで目録作成

RDAテスト参加動機

- ・初期からの参加: 負担少ない

- ・スタッフのモチベーションアップ: すべてのスタッフがその道の第一人者に

参加スタッフの現状

- ・RDAにかんする知識を十分にもっているので問題なく業務が可能

- ・PSの変更など、情報が頻繁に更新されるのでフォローが難しい

その他

- ・システム上の変更点はMARCの新規項目のみ

<http://www.lib.uchicago.edu/staffweb/depts/cat/rda.html>

The Joe and Rika Mansueto Library



- ◆自動化書庫 (ASRS) 350万冊収容可能

- ◆"静かに"使う閲覧室

- ◆地上1F建て



New York

コロンビア大学

- Butler Library 中央図書館
- C.V. Starr East Asian Library 東アジア図書館



Butler
Professional Cataloger 7名

C.V. Starr East Asian Library
Technical Services 9名
Cataloger 日本語1名 中国語1名

コロンビア大学の取組

インタビュー調査 : Technical Services
Kate Harcourt (Director, Original and Special Materials Cataloging, Butler)
Sarah S. Elman (Head of Technical Services, C.V. Starr)
- Cataloguers : Japanese, Chinese, Law Library

RDAテストに参加 (2010年)

新規書誌作成はほぼRDAに移行
・デジタルアーカイブなどMARC以外のデータはRDAを採用していない
※RDAで必須事項となるStatement of responsibilityがない

RDAテスト参加動機
・スタッフからの要望 “開発に影響を与えることができる”

コロンビア大学のRDA wiki
<https://wiki.cul.columbia.edu/display/rda2/Home>
CEAL RDA Q&A
<http://rdaandcjkworkshop.pbworks.com/w/page/49260024/Home>

RDAのメリット・デメリット

メリット

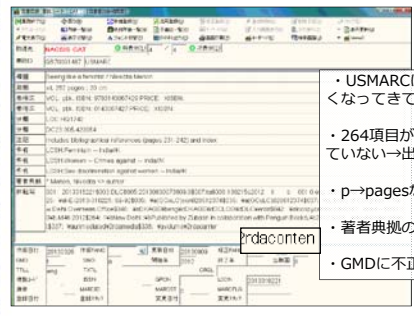
- ・データの再利用性
RDAのメリットはメタデータを他の環境で再利用できること、
- ・新しい資料形態にも対応可能
RDAはFRBRの概念で書いてあり、フォーマットに限定されない
- ・項目の明確化 (書誌レコード、典拠レコード)
出版年 / 印刷年等格納時に混ざっていたデータを明確化する
ジェンダー、職業、すべてをことになったエレメンツに入れられる

RDAのメリット・デメリット

デメリット

- ・指示不足
例示が少なく曖昧。
例) reproductionの指示は1段落しかない
- ・フォローアップの難しさ
LC / PCCなど各機関における規定が散在している
更新も早く学び続けることが大変
- ・作業時間が増える
確認や詳細なデータを入力するのに時間がかかる
- ・システム面が追いついていない
ローカルシステムではリトリブできない
MARCの枠組みのままなので、効果が実感できない

NACSIS-CATにおけるRDAの影響



- ・USMARCにRDAレコード多くなってきている
- ・264項目がインポートできない→出版事項非表示
- ・p→pagesなど略称の不使用
- ・著者典拠の後ろにAuthor
- ・GMDに不正コード

RDAは目録業界だけの話ですか？

究極の目録について



Linked Open Data



BnF

Access Point





Professional Catalogue

なにが一番必要か
みんなで理想を話し合う時

End